## 枇杷健一 企画・写真 伊藤 彰 表紙デザイン 伊藤 彰

地下空間に柔らかな光 が注がれています。 今年最初の表紙は昨年 末にオープンした梅田 のハービスエントとヒ ルトンプラザウエスト の間にあるサンクンガ ーデンのトップライト です。

昨年の"まち"から今 年は少し"建築"に目を向け、私たちの身近 なまちの建築を新たな 視点で探してみようと 思います。そこに建築 家の意図とは少し違っ た視点を発見できるか もしれません。

(枇杷健一)

## ■特集予告

- 2月号/健やか
- 3月号/東海支部
- 4月号/建築の経済化(仮称)

## 編集委員会(平成16年度)

■副会長 井上 豊 中井 進 

◎委員長 ○副委員長 △幹事

印刷 2004年12月25日 発 行 2005年1月1日 発行人 社団法人日本建築協会 発行所 社团法人日本建築協会 大阪市中央区大手前1-7-31 電 話 06-6946-6981 振替口座 00910-9-39975 印刷所青葉印刷株式会社 (株) NPCコーポレーション 定 価 1200円 〔税込〕

## 建築と社会

Architecture and Society JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

目次

2005

特集●	震災から10年~震災により生まれた都市再生の潮流~	-
[総論]	阪神・淡路大震災から10年~住宅・まちづくり復興で出来たこと、	
	残された課題~●垂水英司 ―――――	- 1
[各論1]	震災10年目以降のまちづくり	
	地域とNPOの協働まちづくり●宮定 章————	- 1
	復興まちづくりから見えた課題●大西−嘉 ──	- 1
	まちづくり協議会の果たした役割●中島克元 ──	- 1
	震災と地域メディアからの情報発信●小泉美喜子 ―――――――	- 2
[各論2]	阪神・淡路大震災の教訓を活かす	
	被災者の避難生活●阪田弘-	- 2.
	住宅耐震化の再建支援の経済学~生活の安全保障の構築に	
	向けて~●永松伸吾 ─────	- 2.
	将来の大震災に備えて~大震災の検証・8つの視点~●室崎益輝 ──	- 2
[各論3]	私と震災	
	『大黒柱』の大切さ●東 朋治 ────	- 2
	"まちづくりの現場"を感じる●宮定 章 ————	- 2
	ガレキに花を咲かせましょう●天川佳美 ────	- 2
	高齢者コレクティブ住宅の推進●石東直子 ――――	- 2
	この10年、さらに10年●室﨑益輝	- 2
年頭のことば	2005年を迎えて●佐野吉彦	
本年の抱負	常設委員●設楽貞樹・上原正行・片倉健雄・瀬戸川 葆・鈴木映男	
作品作風	アミュプラザ鹿児島	4
gallery	新しい原風景(筑波幸一郎)●倉渕奈千子	
法令コーナー	日本一安全な住まいのまち─震災復興と建築物安全安心実施計画─●増渕昌利	30
	被災建築物応急危険度判定と被害住家被害認定調査●朝倉─晃	3.
information	大本山相國寺と金閣・銀閣の名宝展、厳島神社国宝展、大阪市立美術館特別陳列「館蔵中国書画名品展」、どう生かす地震の教訓―地震防災総合研究10年に学ぶ―、「第9回震災対策技術展」&「自然災害対策技術展」、大阪芸術大学 冬期所蔵品展、大阪ガスインテリアデザインスクール、第36中部建築賞表彰作品が決まる	3.
 会員の動き	土屋壽満さん、大阪市市民賞受ける	32
月間の動き	平成16年11月分	36
デザインコンクール	第50回工高生デザインコンクール設計課題:住宅	34